

## イ 小児科定点

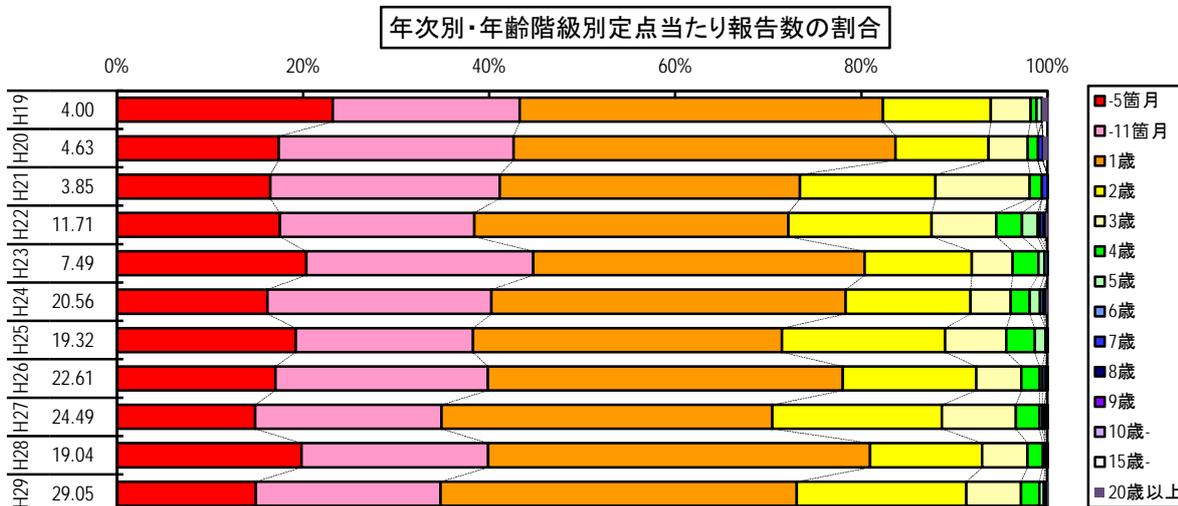
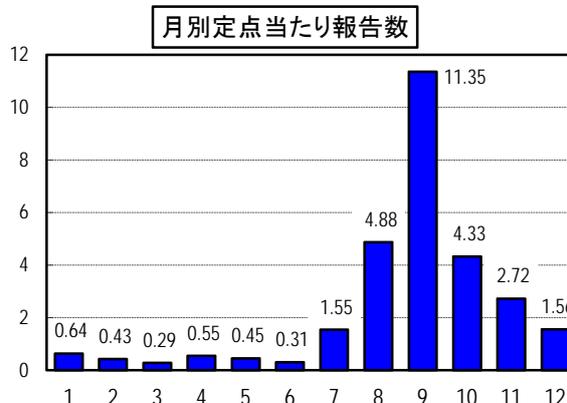
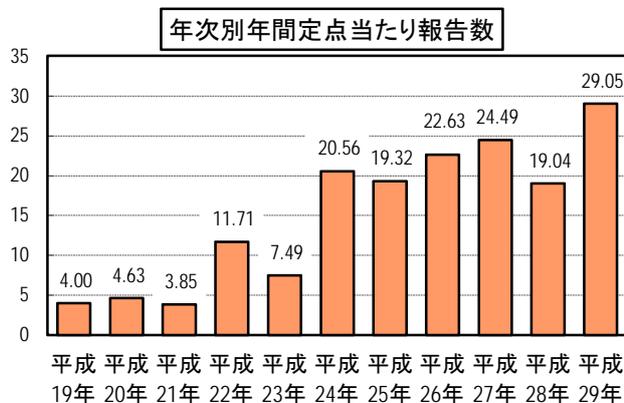
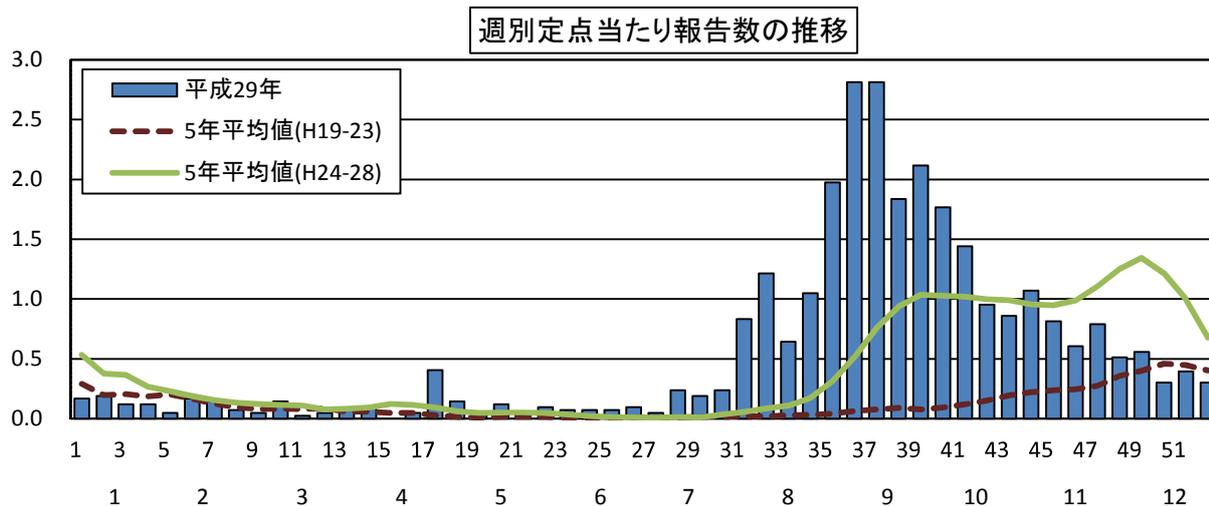
### (ア) RSウイルス感染症

平成29年は年間報告数1,240例、年間定点当たり報告数29.05であり、年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比は1.37、前年比は1.53であった。

過去10年間の年間定点当たり報告数と比べ最も多かった。平成19年から23年の年間定点当たり報告数は多くても11.7だったが、平成24年以降は最も少ない年で19.0であり、ここ数年報告数の多い傾向が続いている。

月別定点当たり報告数では9月(11.35)、8月(4.88)、10月(4.33)が多かった。

年齢階級別では、1歳(38.3%)が最も多く、次いで6～11箇月(19.8%)、2歳(18.2%)、0箇月～5箇月(14.9%)の順となり、2歳以下が全体の91.2%を占めた。



(イ) 咽頭結膜熱

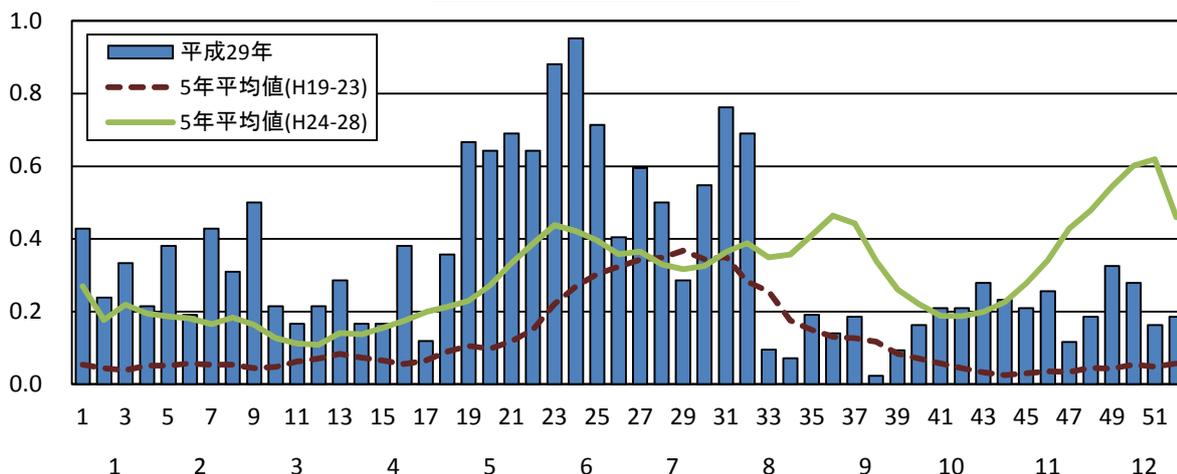
平成29年は年間報告数746例、年間定点当たり報告数17.68、年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比1.14、前年比0.90であった。

過去10年間の年間定点当たり報告数と比べると、平成26年、28年に次いで多かった。

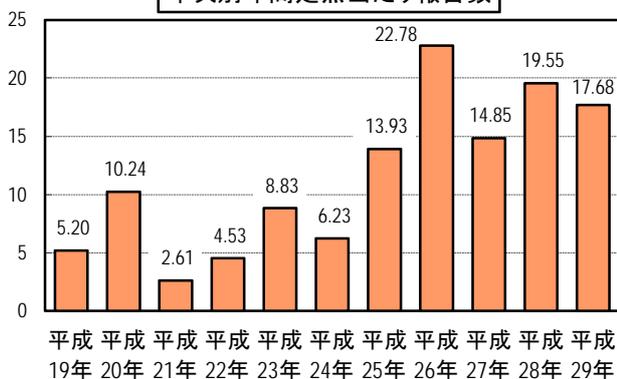
月別定点当たり報告数では、5月(3.00)、6月(2.95)及び7月(2.69)が多かった。

年齢階級別では、1歳(29.8%)が最も多く、次いで2歳(16.0%)、3歳(14.2%)、4歳(11.7%)の順となり、1～4歳が全体の71.7%を占めた。

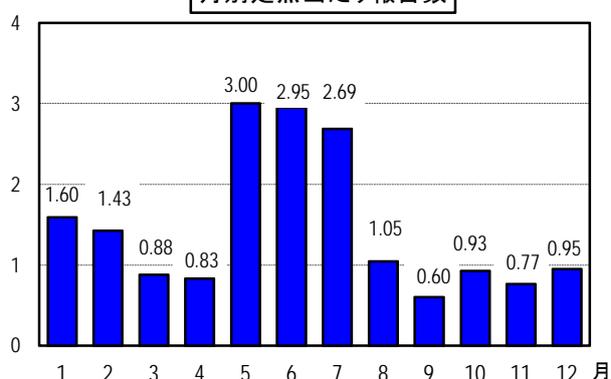
週別定点当たり報告数の推移



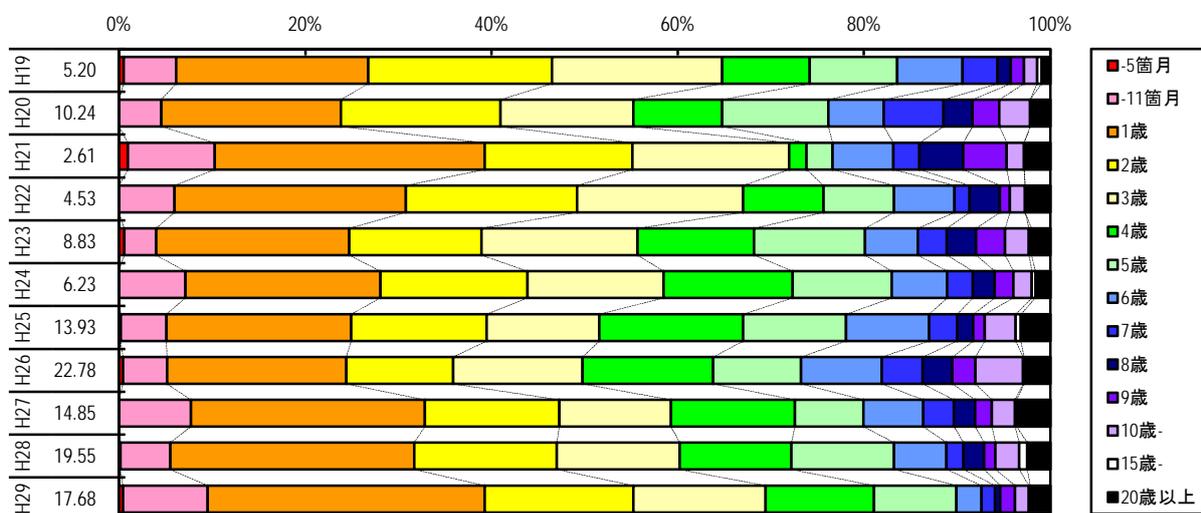
年次別年間定点当たり報告数



月別定点当たり報告数



年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合



(ウ) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

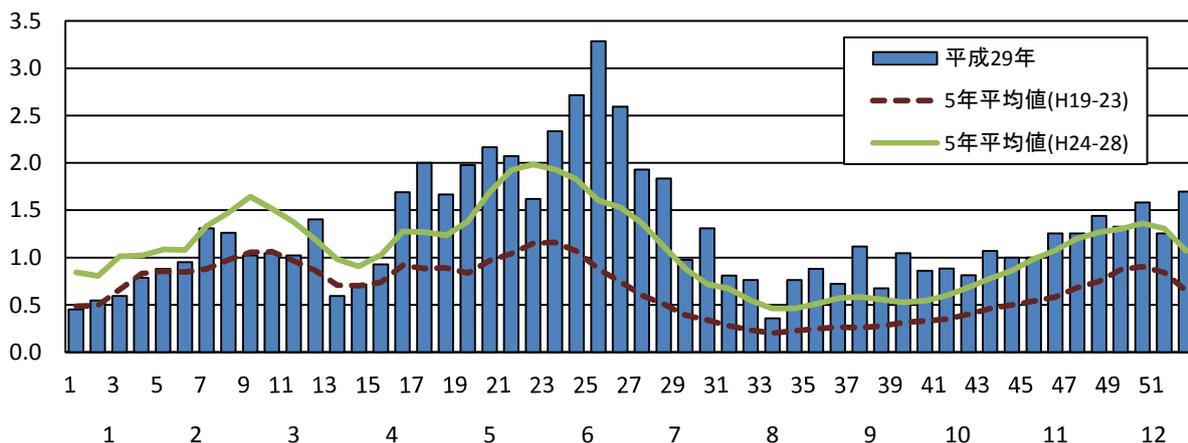
平成29年は年間報告数2,802例、年間定点当たり報告数66.26、年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比1.16、前年比1.11であった。

過去10年間の年間定点当たり報告数と比べ最も多かった。

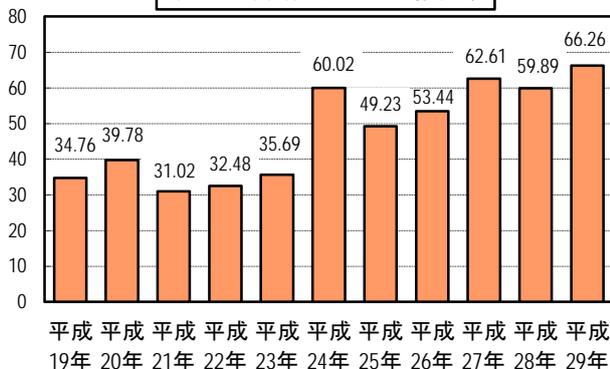
月別定点当たり報告数では、6月(10.93)、5月(9.50)、7月(6.86)の順に多かった。

年齢階級別では、4歳(13.4%)が最も多く、次いで5歳(13.1%)、6歳(11.8%)、3歳(10.5%)、7歳(10.2)の順となり、3歳～7歳が59.0%を占めた。

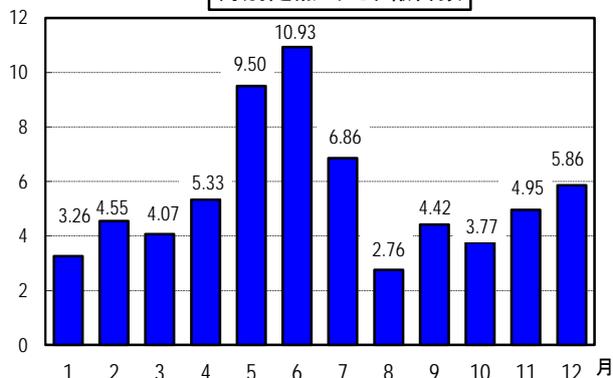
週別定点当たり報告数の推移



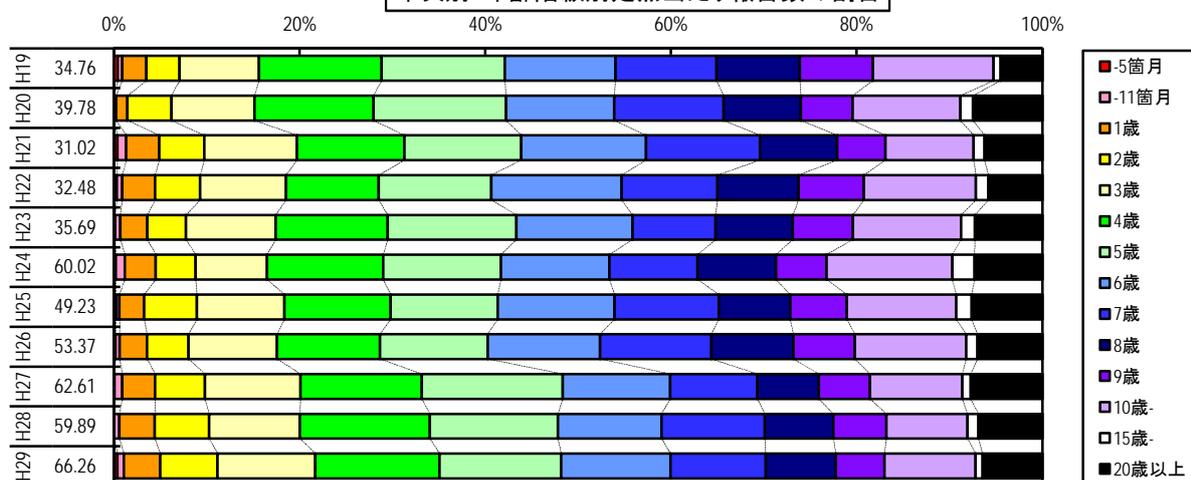
年次別年間定点当たり報告数



月別定点当たり報告数



年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合



(I) 感染性胃腸炎

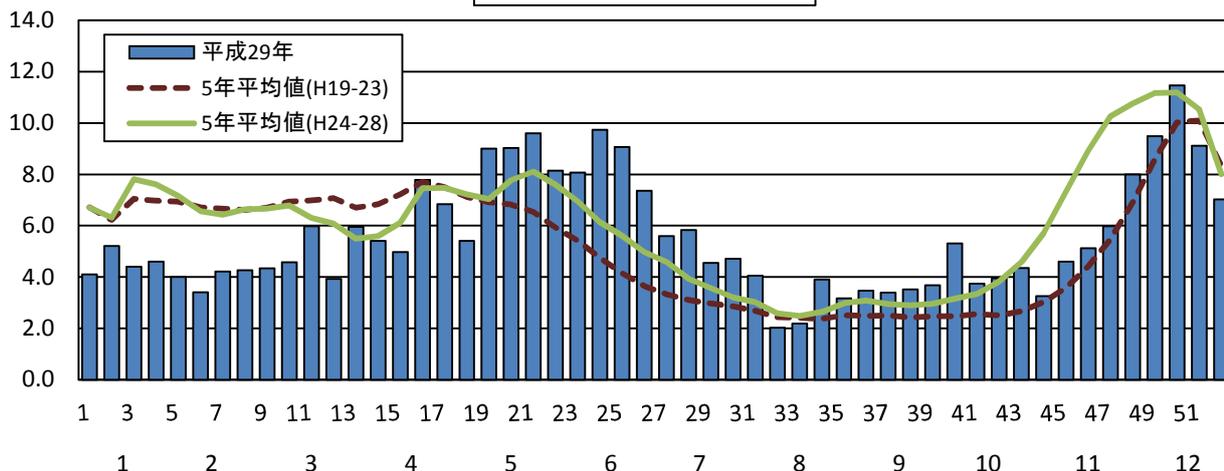
平成29年は年間報告数12,310例、年間定点当たり報告数290.82、年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比0.92、前年比0.80であった。

過去10年間の年間定点当たり報告数と比べると、平成28年、24年、22年、26年に次いで5番目に多かった。

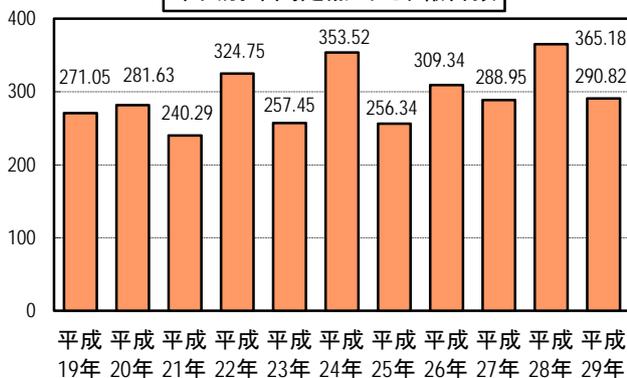
月別定点当たり報告数では5月(41.17)、12月(37.09)、6月(34.24)の順に多かった。

年齢階級別では、1歳(16.6%)が最も多く、次いで2歳(11.5%)、20歳以上(10.4%)となっていた。1～4歳が全体の46.5%を占めた。

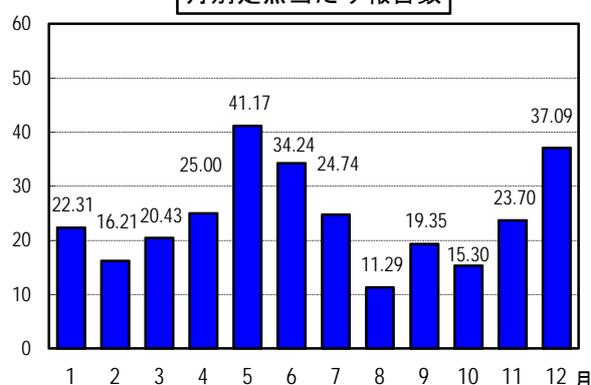
週別定点当たり報告数の推移



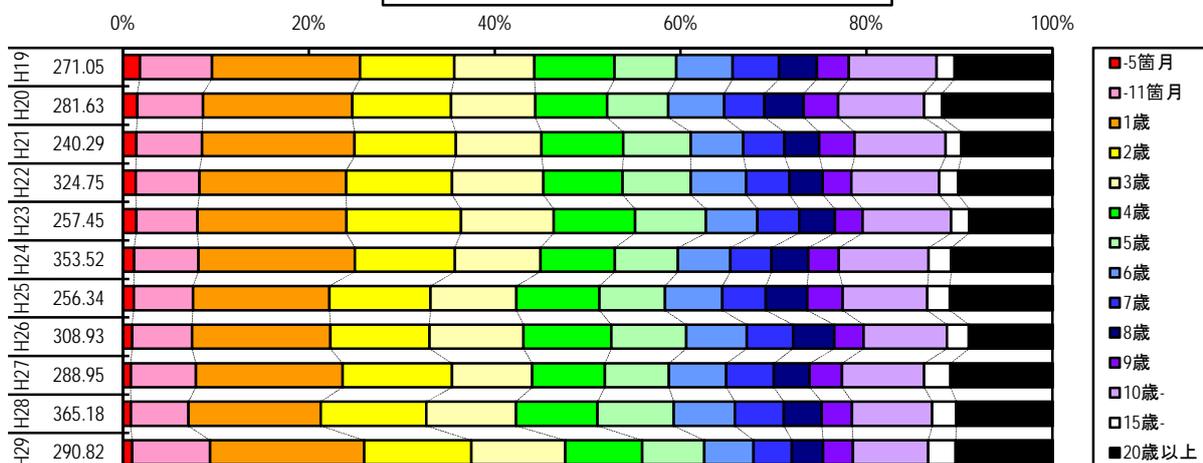
年次別年間定点当たり報告数



月別定点当たり報告数



年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合



(オ) 水痘

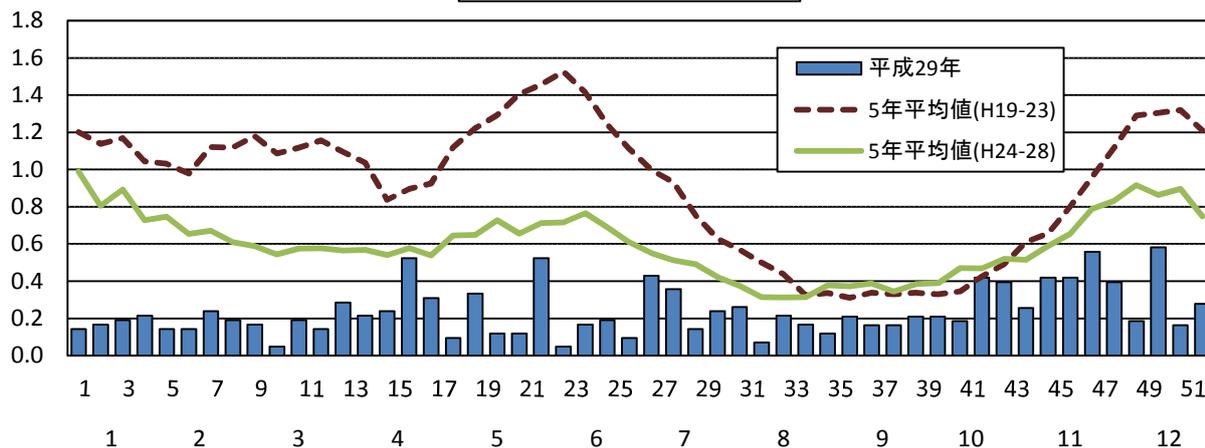
平成29年は年間報告数528例，年間定点当たり報告数12.45，年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比0.40，前年比0.80であった。

年間定点当たり報告数が平成25年から5年連続して減少し，過去10年間で最少となった。

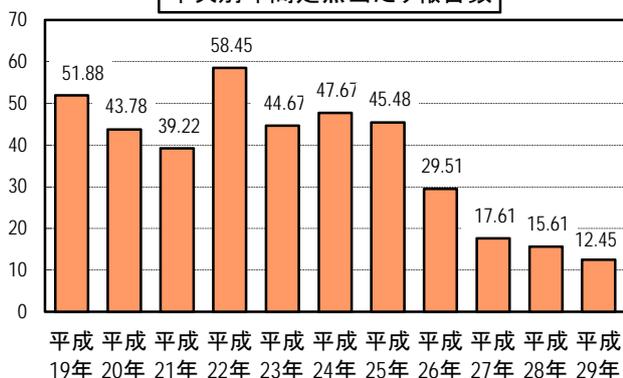
月別定点当たり報告数では，11月(1.79)，7月(1.43)の順に多かった。

年齢階級別では，5歳(12.1%)に次いで，6歳(11.9%)，1歳及び3歳(11.6%)，4歳(9.8%)の順に多く，1～6歳が全体の66.3%を占めた。

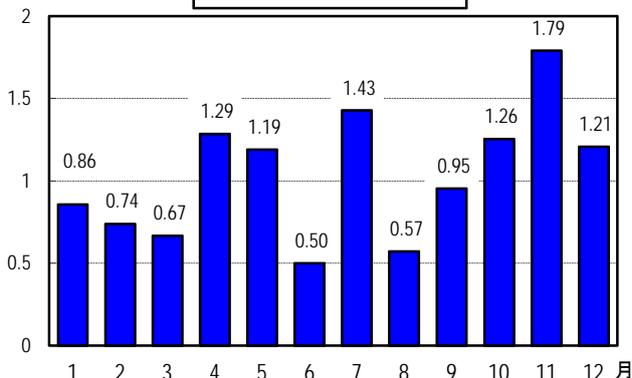
週別定点当たり報告数の推移



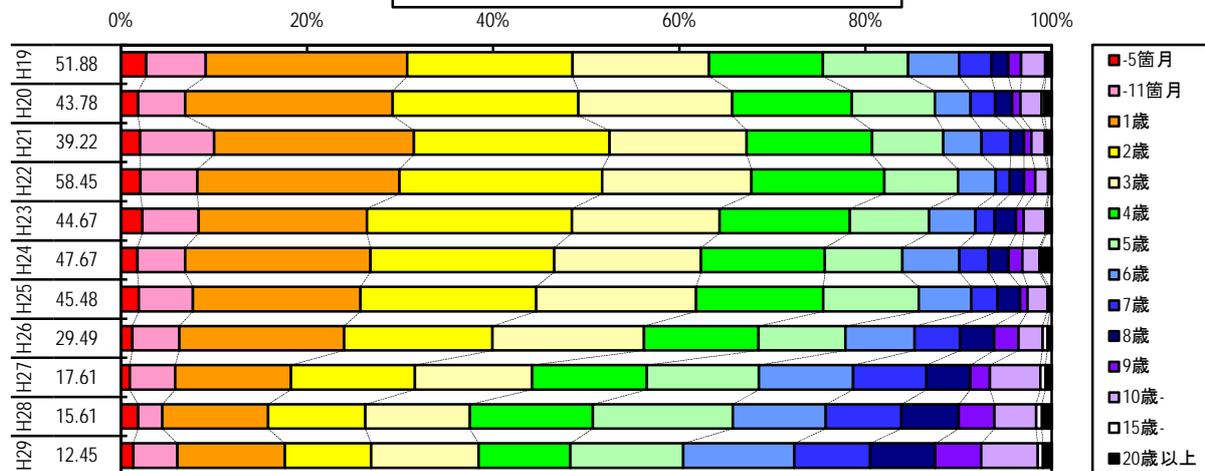
年次別年間定点当たり報告数



月別定点当たり報告数



年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合



(カ) 手足口病

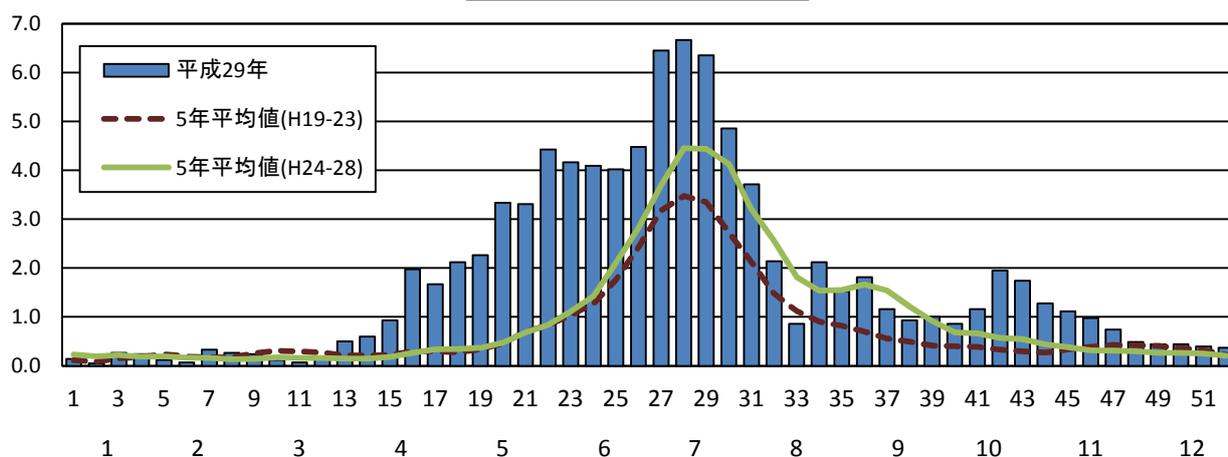
平成29年は年間報告数が3,861例、年間定点当たり報告数は91.53、年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比1.78、前年比3.26であった。

過去10年間の年間定点当たり報告数と比べると、平成27年に次いで多かった。

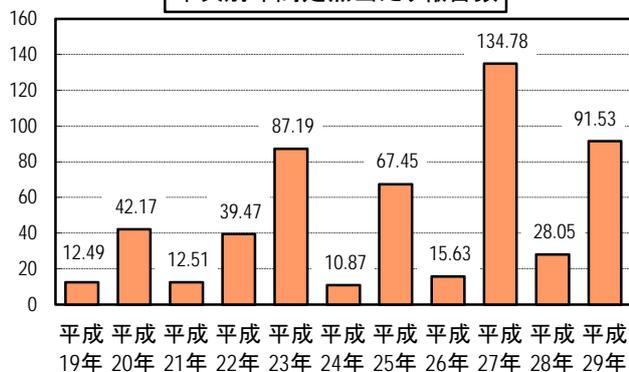
月別定点当たり報告数は、7月(28.05)、6月(16.76)、5月(15.45)の順に多く、1月～3月の報告数は少なかった。

年齢階級別では、1歳(42.6%)が最も多く、次いで2歳(20.7%)、6箇月～11箇月(12.9%)の順となり、6箇月～2歳が全体の76.2%を占めた。

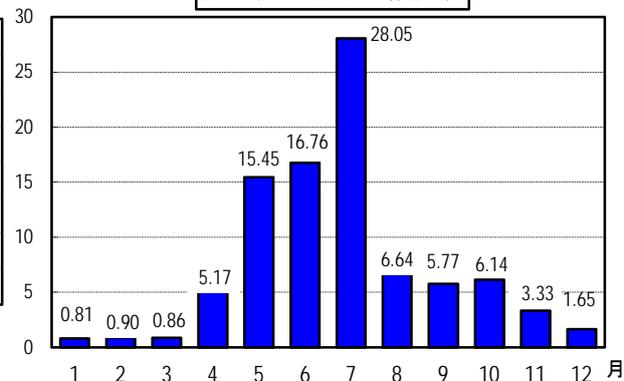
週別定点当たり報告数の推移



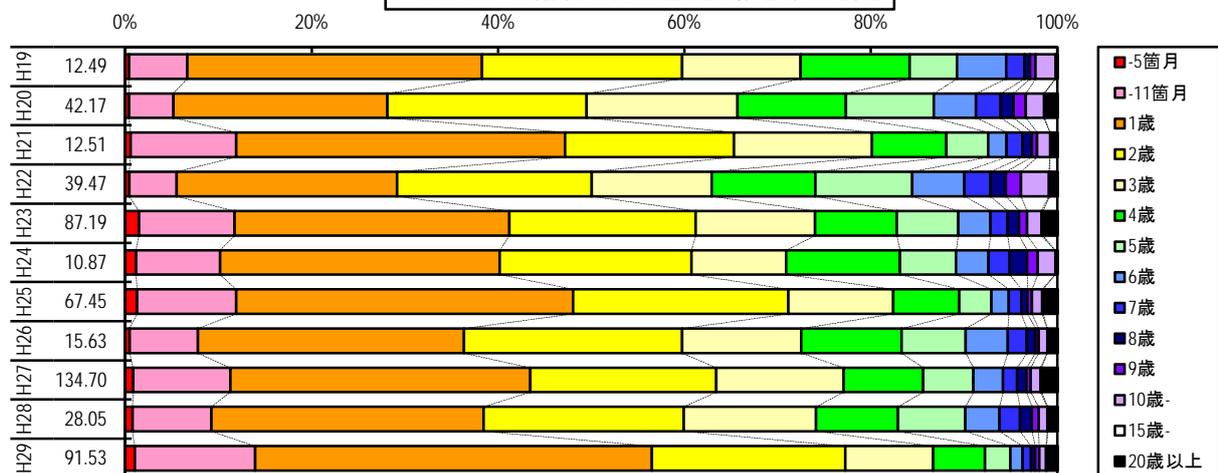
年次別年間定点当たり報告数



月別定点当たり報告数



年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合



(キ) 伝染性紅斑

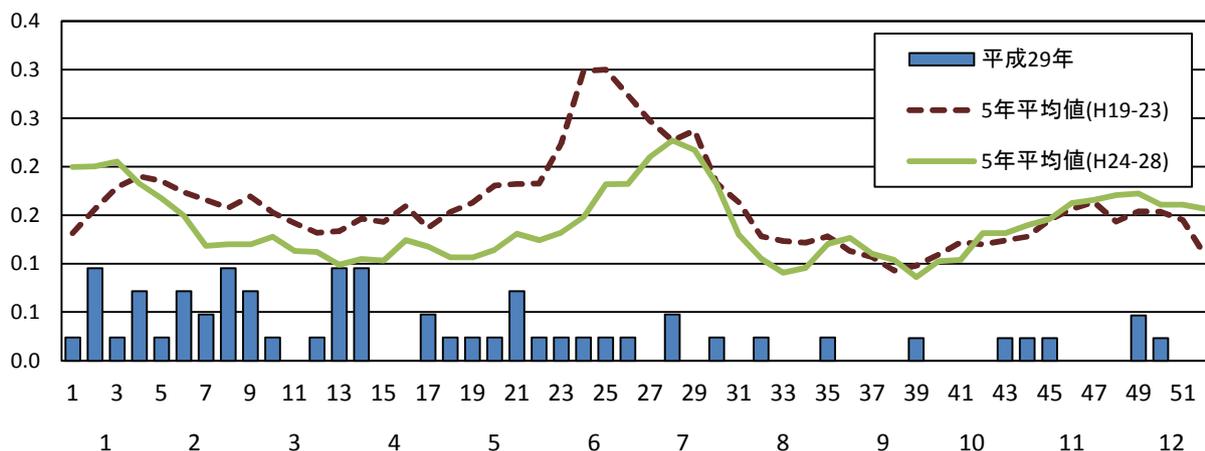
平成29年は年間報告数57例、年間定点当たり報告数1.35、年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比0.19、前年比0.15であった。

過去10年間の年間定点当たり報告数と比べると平成25年に次いで少なかった。

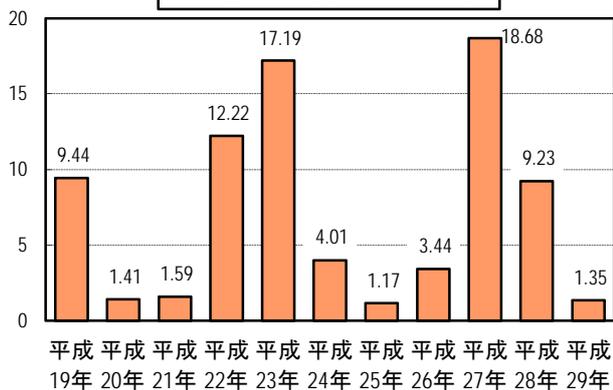
月別定点当たり報告数では、2月(0.29)が最も多く、次いで1月(0.24)、5月(0.17)の順に多かった。

年齢階級別では、4歳(15.8%)が最も多く、次いで1歳及び6歳(12.3%)の順であった。

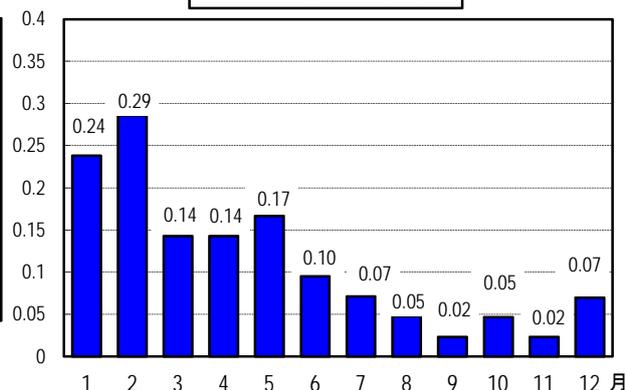
週別定点当たり報告数の推移



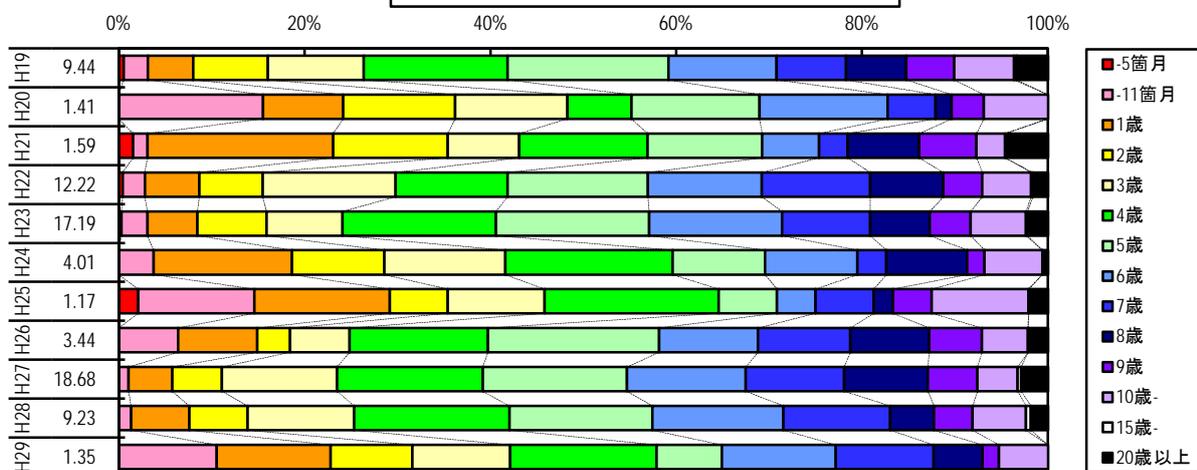
年次別年間定点当たり報告数



月別定点当たり報告数



年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合



(ク) 突発性発しん

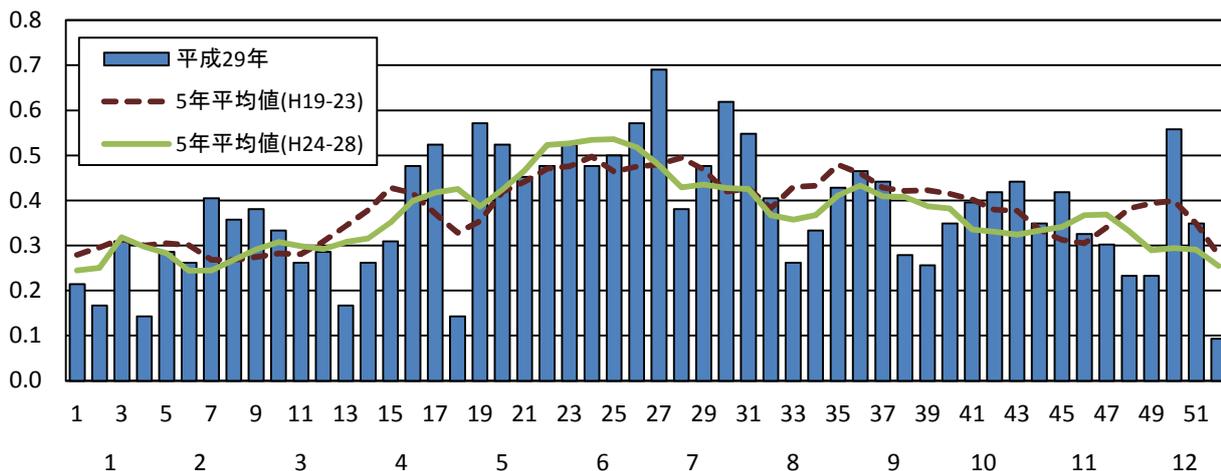
平成29年は年間報告数822例、年間定点当たり報告数19.43、年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比1.02、前年比1.05であった。

過去10年間の年間定点当たり報告数は最多20.20、最少18.54、平均19.43であり、すべての年次でほとんど変化がない。平成29年は平均とほぼ等しかった。

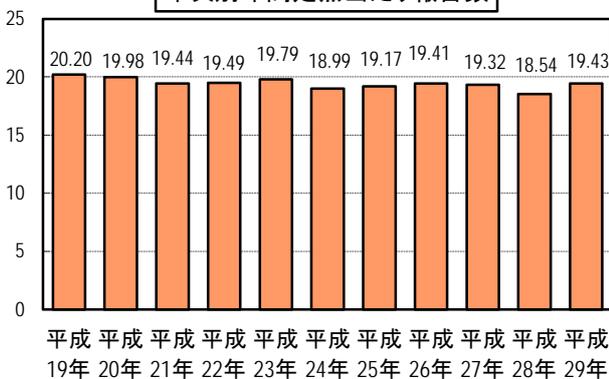
月別定点当たり報告数では、7月(2.71)が最も多く、次いで5月(2.17)、6月(2.07)の順に多かった。

年齢階級別では、1歳(53.4%)が半数以上を占め、次いで6箇月～11箇月(32.8%)の順で、1歳以下が全体の87.5%を占めた。

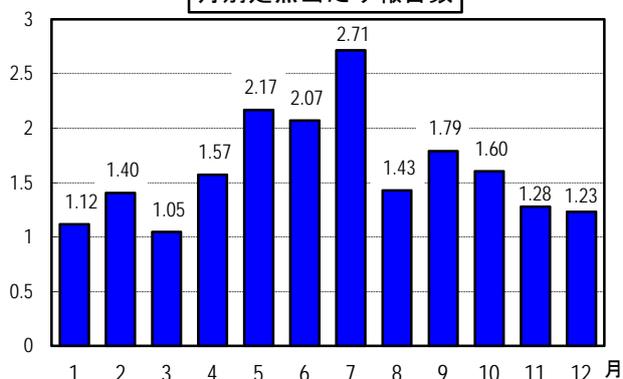
週別定点当たり報告数の推移



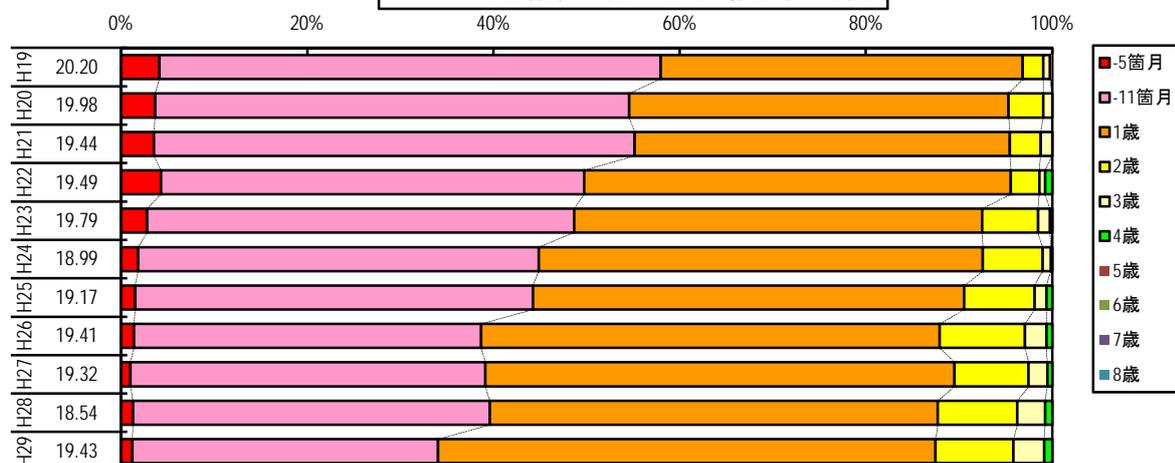
年次別年間定点当たり報告数



月別定点当たり報告数



年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合

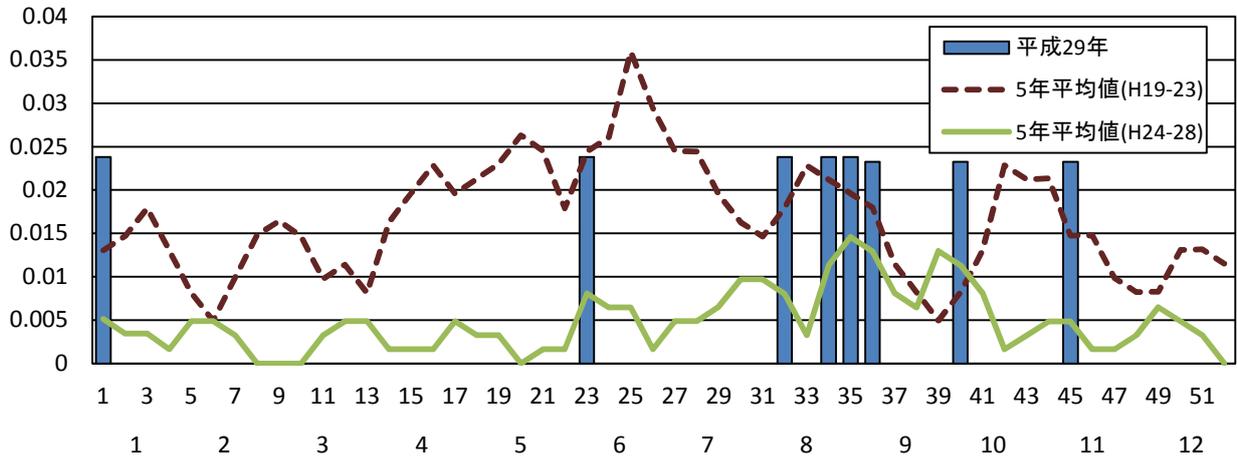


(ケ) 百日咳

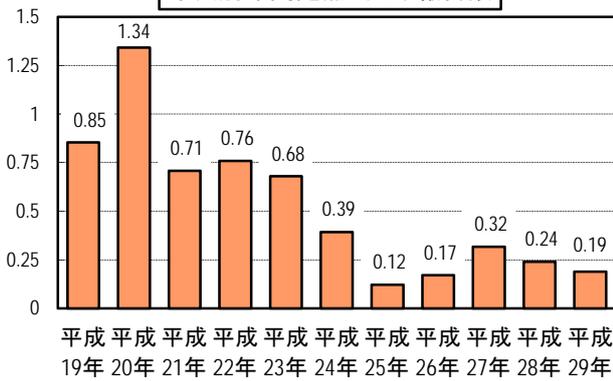
平成29年は年間報告数8例、年間定点当たり報告数0.19、年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比0.76、前年比0.79であった。

過去10年間の年間定点当たり報告数と比べると、平成25年、平成26年に次いで少なかった。

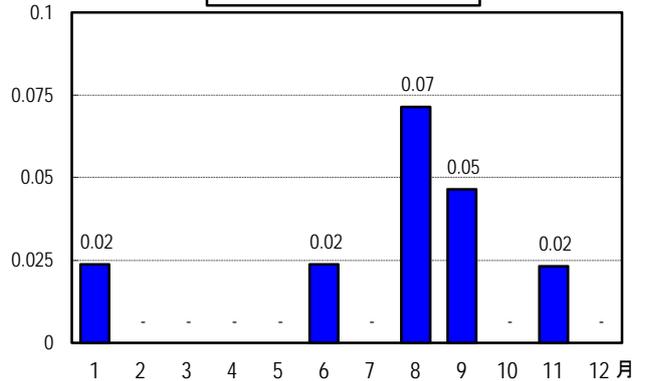
週別定点当たり報告数の推移



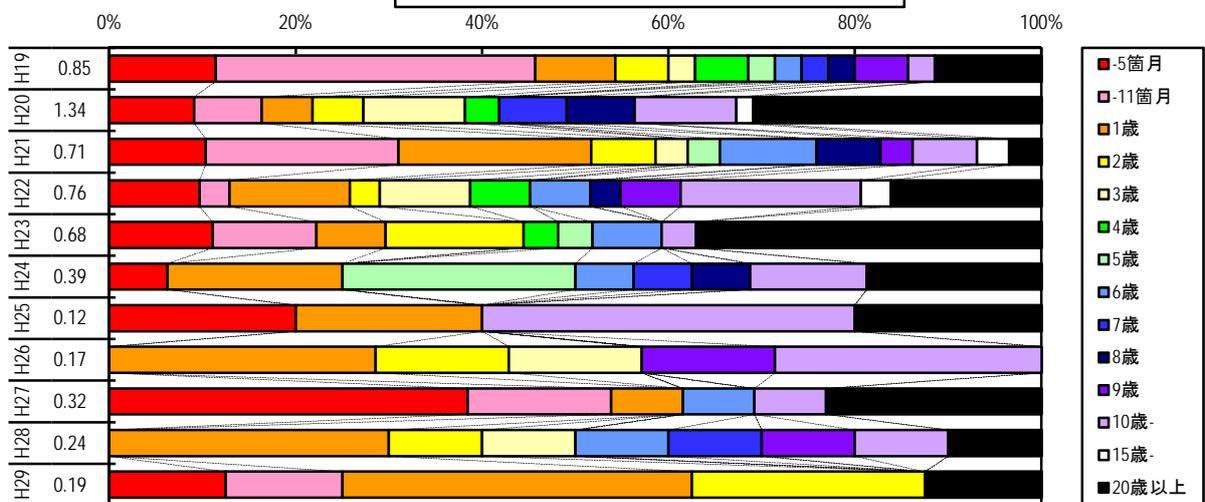
年次別年間定点当たり報告数



月別定点当たり報告数



年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合



(コ) ヘルパンギーナ

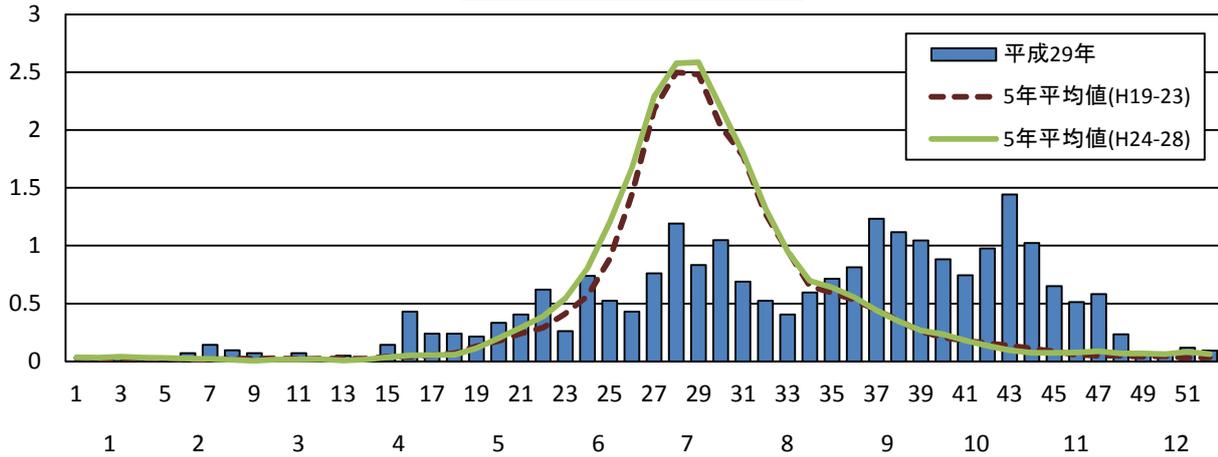
平成29年は年間報告数1,002例、年間定点当たり報告数23.58、年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比0.99、前年比0.92であった。

過去10年間の年間定点当たり報告数と比べると中央値(23.23)に近かった。

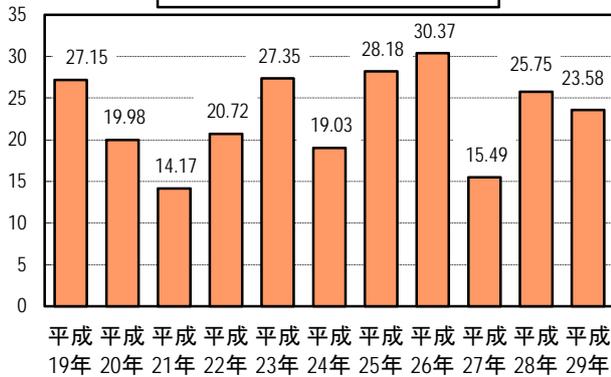
月別定点当たり報告数では、9月(5.09)、7月(4.52)、10月(4.19)の順であった。

年齢階級別では、1歳(33.7%)が最も多く、次いで2歳(19.2%)、6箇月～11箇月(13.7%)、3歳(9.4%)の順で、6箇月～3歳が全体の76.0%を占めた。

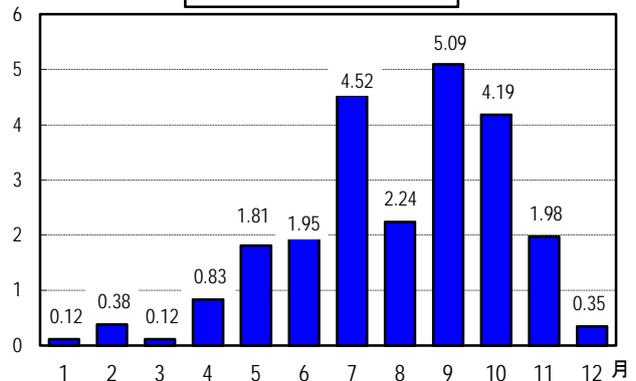
週別定点当たり報告数の推移



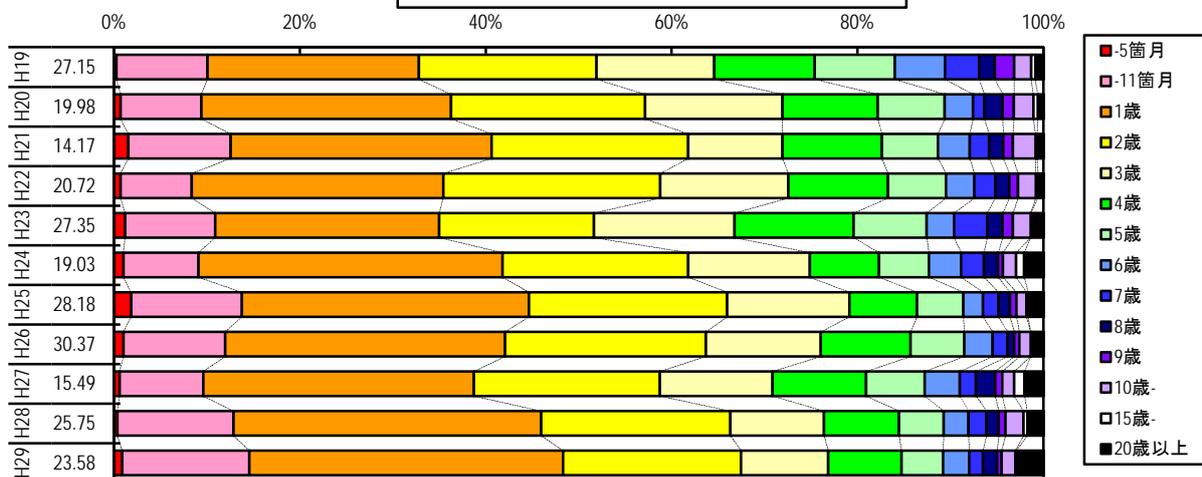
年次別年間定点当たり報告数



月別定点当たり報告数



年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合



(サ) 流行性耳下腺炎

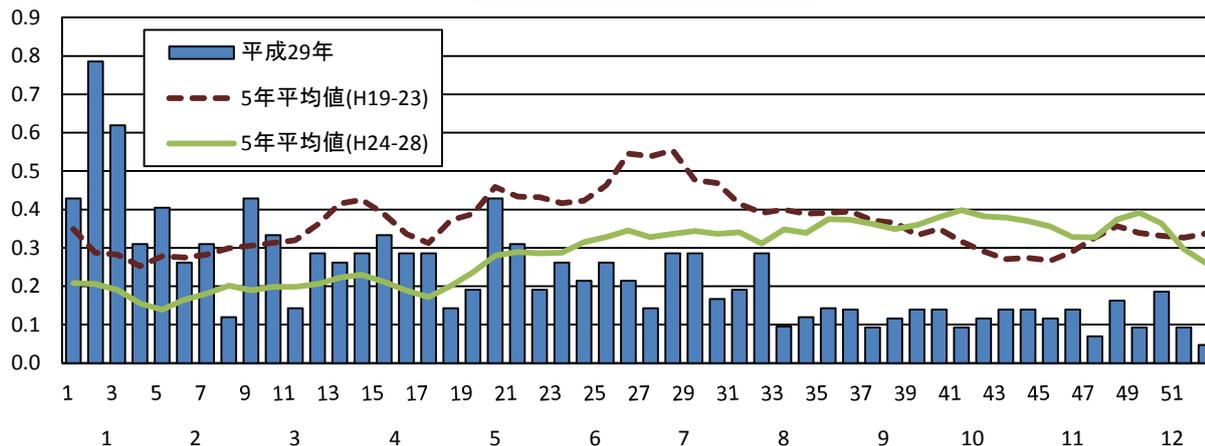
平成29年は年間報告数499例，年間定点当たり報告数11.83，年間定点当たり報告数の過去5年平均値との比0.79，前年比0.28であった。

過去10年間の年間定点当たり報告数と比べると，平成25年，26年，24年，20年に次いで5番目に少なかった。

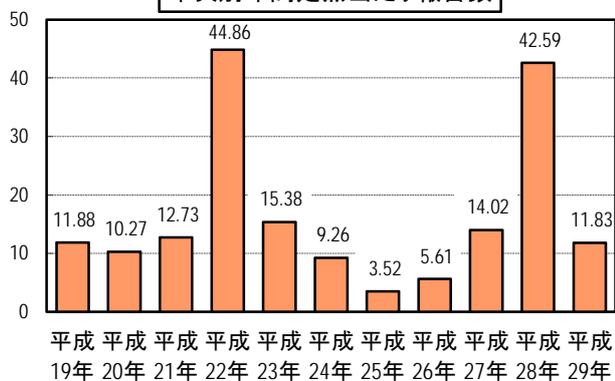
月別定点当たり報告数では，1月(2.55)，5月(1.26)，4月(1.19)の順に多かった。

年齢階級別では，5歳(14.4%)，次いで7歳(12.4%)の順であった

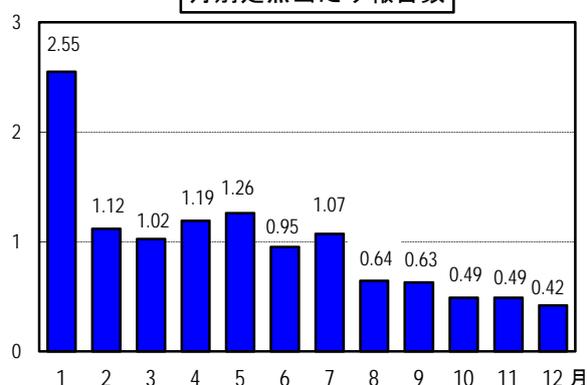
週別定点当たり報告数の推移



年次別年間定点当たり報告数



月別定点当たり報告数



年次別・年齢階級別定点当たり報告数の割合

